

引き続き、新型コロナウイルス感染予防に取り組みましょう

～ 近畿地方整備局直轄工事・業務関係者にも感染が拡大しています ～

新型コロナウイルス感染症予防対策に努めていただいているところですが、直轄工事においてもクラスターが発生するなど感染が急拡大しています。新型コロナウイルス感染症の発生を抑えるためには、1人ひとりが正しく対策を行うことが何よりも重要です。

基本的な感染予防対策が有効です

- 新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間は、発症の2日前から発症後7～10日間程度とされています。
- また、この期間のうち、発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなると考えられています。このため、**体調不良を感じたら不要・不急の外出を控えるなど感染防止に努めましょう。**
- **現場では、3密（密接・密集・密閉）の回避、マスクの適切な着用、手洗いなどを行いましょ**う。
- 新型コロナワクチン接種によって感染を予防する効果を示唆するデータが報告されていますが、その効果は100%ではなく、変異によりワクチンの効果に影響が生じる可能性もあります。**新型コロナワクチン接種後も引き続き感染予防対策を継続しましょ**う。

「ゼロ密」を目指そう
～ 一つの密でも避けましょ ～



手洗い/消毒を
しっかりと



マスクの着用



現場作業や休憩所ではしっかりと感染予防を行いましょ

- 朝礼は、ポイントを絞った説明、伝達事項が明確な資料の活用など、**時間の短縮を図りましょ**う。
- 休憩・休息スペースのテーブル、椅子など**共有する物品は、定期的に消毒しましょ**う。
- 暑さがぶり返す中、マスクの着用による熱中症が懸念されます。屋外で人と十分に距離を確保できる場合には適宜マスクを外すなど、**熱中症リスクの軽減にも心がけましょ**う。



工事施工での取り扱いについて（直轄工事）

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しつつ、一層の円滑な発注及び施工体制の確保を図るため直轄工事では、以下の通り取扱います。

- 受注者からの申し出があった場合には、受発注者間で協議を行った上で、工期の見直しやこれに伴い必要となる請負代金額の変更、一時中止の対応等、適切な措置を行う。
- 感染拡大防止対策に係る費用など、設計変更の対象とする経費等を入札公告時に明示し、適切に設計変更一時中止した場合、工期・費用等適切に設計変更を行う。
- 検査時の書類の簡素化や中間技術検査の簡素化、遠隔臨場の試行を行う。



**自分のため、みんなのため、そして大切な人のため。
私たち1人ひとりが、できることをしっかりとやりましょ**

引き続き熱中症にご用心！

～ 9月も熱中症の危険があります ～

暑さがやわらいでくる時期ですが、涼しい日が続いた後に暑さがぶり返したり、台風や雨の影響で湿度が高くなると熱中症の危険が高まります。引き続き熱中症に気をつけてください。

大阪の昼間の日最高暑さ指数（WBGT）

涼しい日が続いた後に暑さがぶり返し、熱中症の危険がある日

	2018年	2019年	2020年※
8月31日	30.9	25.9	31.8
9月1日	26.7	27.2	32.2
9月2日	27.9	30.0	30.8
9月3日	30.0	29.8	28.0
9月4日	26.4	29.7	29.8
9月5日	27.4	30.6	32.0
9月6日	25.6	30.9	30.8
9月7日	27.6	31.8	28.6
9月8日	24.5	31.4	28.0
9月9日	26.4	31.4	24.5
9月10日	25.1	31.4	27.4
9月11日	25.4	31.5	26.9
9月12日	22.1	26.7	30.7
9月13日	23.6	24.5	26.7
9月14日	24.7	28.2	24.3
9月15日	26.4	29.4	25.3
9月16日	28.5	27.5	26.3
9月17日	25.0	27.4	27.8
9月18日	26.4	27.0	28.7
9月19日	23.9	23.3	24.8
9月20日	20.2	24.6	22.5
9月21日	26.0	23.4	23.2
9月22日	27.5	26.6	24.7
9月23日	25.2	26.5	24.8
9月24日	25.5	23.3	25.2
9月25日	21.7	24.9	21.6
9月26日	20.3	27.2	23.3
9月27日	21.7	27.0	21.9
9月28日	22.9	25.6	23.4
9月29日	19.3	27.8	24.9
9月30日	23.9	27.7	21.7
10月1日	21.3	30.1	23.5
10月2日	21.7	26.1	23.3
10月3日	23.1	26.0	23.4
10月4日	19.9	25.9	23.3

暑さ指数（WBGT）

21℃ 25℃ 28℃ 31℃
 ほぼ安全 注意 警戒 嚴重警戒 危険

※2020年は速報値（出典：環境省熱中症予防情報サイト）

暑さがぶり返した日の現場監督者等の注意点

- 作業休止時間や休憩時間を通常以上に確保しましょう。
- 暑さ指数（WBGT）が警戒値に達した場合に作業休止するだけでなく、**現場状況や作業員の疲労度によって作業休止を検討**しましょう。
- 安全パトロールを頻繁に行いましょう
- 作業前のKY活動で、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎがないことを確認しましょう。
- 休憩所などに熱中症対策用品があることを確認しましょう。
- 異常をすぐに把握できるよう、**単独の作業をできるだけさせない**ようにしましょう。
- 風通しが悪い高温多湿の場所での打ち水は、湿度が上昇するので注意しましょう。

暑さがぶり返した日の作業中の注意点

- のどが渇いていなくても、定期的に水分・塩分を補給しましょう。
- 休憩時には衣服をゆるめて、座ったり横になったりして、しっかりと身体を休めるようにしましょう。
- だるさや立ちくらみなど、熱中症の症状があった時には、ためらわず、**体調不良を伝えて休憩**をとりましょう。
- 作業員同士で気を配り、普段とは違う様子が見られたら、休憩をとることを進めましょう。
- 一般的に起床時に既に少し脱水状態になっているので、朝食をしっかり摂れていないと脱水の危険が高まります。意識的に水分・塩分を補給するようにしましょう。
- 終業後に体調が悪化することもあるので注意してください。

【速報】直轄工事の現場で死亡事故が発生！

足場を移動中に墜落

8月下旬、作業員が鋼管杭の杭頭処理作業のため足場を移動していたところ、ダム湖に墜落し、死亡する事故が発生しました。詳細は、現在調査中ですが、以下を注意しましょう。

- 高所作業場所には**作業床または墜落制止用器具（親綱含む）を適切に設置**しましょう。
- 足場は段差がないように組み立てるとともに、資材・工具など**足が引っかかる恐れがあるものを放置しない**ようにしましょう。
- ヘルメットや墜落制止用器具などは**サイズがあったもの**を着用しましょう。

